いじめ被害の頻度に与えるいじめられたときの反応の影響

水谷聡秀

(関西大学社会学部)

キーワード: いじめ被害頻度・いじめ被害時の反応・許し

Students' responses to bullied experience and their influences on bullied frequency

Satohide MIZUTANI

(Faculty of Sociology, Kansai University)

Key Words: bullied frequency, responses to bullied experience, forgiveness

目 的

いじめ被害について経験する者は少ないとは言えず、いじめ被害の頻度が高くなれば長期的にも Well-being が低下することが示されている (水谷・吉津・雨宮, 2010)。そのため、いじめ被害を受けたとしても、いじめ被害の頻度が高くならない対策をとる必要がある。対策について考える際に、ここでは本人の行動あるいは反応に焦点を当てる。いじめが持続しない意味で効果的な反応をすることもあれば、逆に悪化させる反応をすることもある。どのような反応が効果的であり、悪化させるのかを明らかにすれば、いじめの持続を避けられ、Well-being への悪影響を避けられるだろう。そこで、本研究ではいじめ被害を受けたときの本人の反応がいじめ被害の頻度にどのように影響するか検討する。

方 法

2014年6月に講義時間を使って大教室にて集団で調査を実施した。調査参加者は164名(男性101名、女性63名)であった。年齢の平均値は18.82歳で、標準偏差は0.926であった。いじめ被害について把握するため、高等学校と中学校、小学校高学年(4年から6年)、低学年(1年から3年)の各時期において児童や生徒から以下の項目で苦痛を受けた経験について次の項目を通して回答を求めた。項目は「たたかれたり、蹴られたりして、苦痛を受けた(身体的いじめ)」、「直接、嫌なことを言われて、苦痛を受けた(言語的いじめ)」、「うわさをたてられて、苦痛を受けた」、「仲間はずれにされて、苦痛を受けた」であった。選択肢は「よくあった(5)」、「ときどきあった(4)」、「あまりなかった(3)」、「ほとんどなかった(2)」、「まったくなかった(1)」であった。その後、同上の者から苦痛を受けた者には、竹村(2001)を参考にして各時期で表1の7つのいじめに対する行動あるいは反応について尋ねた。

選択肢は「あてはまる(5)」、「ややあてはまる(4)」、「どちらともいえない(3)」、「ややあてはまらない(2)」、「あてはまらない(1)」であった。

結果と考察

各時期の各いじめを基準変数とし、性別変数(男性:1、女性:0)といじめ被害に対する行動7変数を予測変数として2項ロジスティック回帰分析を行った。非線形性を考慮するため7変数を質的変数として扱った。選択肢1を0とし、2と3を「低」、4と5を「高」とした。分析の際、参照カテゴリーを0とした。基準変数では低頻度になるか否かを見るため、1と2を「0:低頻度」、残りを「1:非低頻度」とした。高校生の頃と小学校高学年の頃を取り上げて結果を表1に記した。オッズ比を見ると、とくに高校生のときには、苦痛を受けるままでも逃げるが低得点であってもいじめ被害の頻度が高くなった。ただし、逃げるが高得点の場合には頻度は高くならなかった。小学生高学年の頃では、仲間はずれに関しては逃げるが高得点であれば頻度が高くなった。また、言語的いじめに限定されるが、やり返すと頻度が高くなった。これに対して、許すと高校生では低頻度になり、許しの効果が限定的に見られる。小学校高学年ではやめてというときには言語的いじめが低頻度になる傾向があり、場合によってはアサーションの効果が示唆される。なお、男性で身体的いじめの頻度が高く、小学校高学年において女性で仲間はずれの頻度が高かった。以上は生徒や児童に助言するときに参考になると考えられる。今後は、妥当性を検討するために回帰法ではない方法での調査でも確認する必要がある。

[引用文献] 水谷聡秀・吉津潤・雨宮俊彦 (2010). 小中高時代のいじめ経験が大学生に与える影響の検討—Well-being・感情との関連を通して— 日本心理学会第74回大会発表論文集, 157. 竹村一夫 (2001). いじめられた時の行動と気持ち 森田洋司 (監修) いじめの国際比較研究—日本・イギリス・オランダ・ノルウェーの調査分析 (pp.93-111) 金子書房

表1. 各いじめ被害頻度を基準変数としたロジスティック回帰分析の結果

予測変数	高校生の頃におけるいじめ					小学校高学年の頃におけるいじめ				
	身体的	言語的	うわさ	仲間はずれ		身体的	言語的	うわさ	仲間はずれ	
	オッズ比 (95%信頼区間)					オッズ比 (95%信頼区間)				
男性ダミー	11.280 (1.695-132.6)	1.281 (0.426-3.943)	2.877 (0.918-9.893)	1.187 (0.339-4.396)		3.957 (1.246-14.75)	0.581 (0.214-1.539)	0.699 (0.276-1.772)	0.180 (0.055-0.526)	
泣いた [低]	1.232 (0.137-10.27)	0.754 (0.166-3.147)	1.036 (0.215-4.635)	0.722 (0.124-3.677)		2.458 (0.338-17.42)	0.107 (0.009-0.767)	0.332 (0.053-1.756)	0.545 (0.076-3.337)	
泣いた [高]	1.848 (0.146-23.88)	0.722 (0.150-3.240)	1.144 (0.229-5.350)	0.505 (0.080-2.771)		2.042 (0.333-12.74)	0.274 (0.034-1.573)	0.739 (0.149-3.321)	0.486 (0.081-2.563)	
逃げた [低]	8.646 (1.246-88.96)	3.526 (0.913-15.24)	5.292 (1.309-24.61)	3.664 (0.780-19.89)		3.781 (0.558-31.12)	7.462 (1.218-61.69)	1.980 (0.435-9.904)	1.687 (0.279-10.50)	
逃げた [高]	0.312 (0.012-6.276)	0.957 (0.226-3.917)	1.378 (0.317-6.149)	2.752 (0.607-13.66)		3.727 (0.489-33.41)	2.397 (0.417-14.49)	1.049 (0.214-5.065)	7.469 (1.345-49.88)	
苦痛を受けるままにした [低]	12.034 (0.765-358.5)	5.730 (1.318-28.98)	3.689 (0.784-19.69)	5.542 (0.967-38.70)		1.880 (0.208-22.52)	8.468 (0.986-108.7)	2.925 (0.465-20.57)	1.268 (0.138-12.83)	
苦痛を受けるままにした [高]	18.562 (1.227-551.1)	10.581 (2.323-59.69)	4.402 (0.991-22.77)	9.187 (1.792-62.01)		2.400 (0.260-27.68)	32.263 (3.694-484.3)	3.799 (0.669-24.84)	3.728 (0.508-32.73)	
気にしないふりをした [低]	0.181 (0.008-3.723)	1.268 (0.253-6.421)	0.682 (0.115-3.925)	0.472 (0.066-2.948)		0.252 (0.019-2.180)	0.146 (0.012-1.069)	1.030 (0.166-5.836)	0.431 (0.049-3.269)	
気にしないふりをした [高]	0.141 (0.006-2.829)	3.178 (0.657-16.07)	2.071 (0.414-10.91)	1.193 (0.203-6.558)		0.228 (0.017-1.805)	0.309 (0.033-1.801)	1.631 (0.330-7.481)	0.771 (0.115-4.517)	
やめてと言った [低]	0.846 (0.064-12.25)	0.669 (0.150-2.956)	0.779 (0.155-3.900)	0.528 (0.099-2.711)		0.551 (0.068-4.317)	0.164 (0.021-0.999)	0.256 (0.044-1.284)	1.357 (0.214-9.217)	
やめてと言った [高]	5.951 (0.469-93.72)	2.013 (0.420-9.958)	2.280 (0.460-11.85)	1.203 (0.224-6.316)		1.481 (0.213-10.58)	0.711 (0.122-3.872)	1.031 (0.226-4.701)	1.109 (0.199-6.331)	
やり返した [低]	1.979 (0.243-19.98)	1.851 (0.476-7.787)	0.916 (0.215-3.763)	0.438 (0.094-1.943)		0.720 (0.108-4.693)	9.970 (1.809-70.66)	2.718 (0.578-14.02)	3.983 (0.658-26.91)	
やり返した [高]	0.591 (0.030-8.913)	6.044 (1.109-36.83)	1.131 (0.179-6.528)	1.068 (0.160-6.359)		0.280 (0.045-1.400)	1.096 (0.265-4.308)	0.811 (0.205-3.005)	2.138 (0.497-9.474)	
許した [低]	0.369 (0.025-4.952)	0.157 (0.031-0.683)	0.426 (0.091-1.834)	0.672 (0.143-2.995)		2.093 (0.276-16.55)	2.014 (0.396-10.37)	2.188 (0.477-10.59)	0.929 (0.145-5.647)	
許した [高]	0.688 (0.054-8.934)	0.128 (0.022-0.618)	0.241 (0.044-1.151)	0.368 (0.068-1.793)		2.628 (0.414-17.50)	1.721 (0.390-7.569)	1.538 (0.349-6.726)	1.923 (0.387-9.863)	
Nagelkerke R^2	0.440	0.318	0.290	0.262		0.249	0.354	0.210	0.336	
χ^2	31.97 **	30.34 *	26.21 *	21.79		20.29	34.77 **	18.70	29.85 *	

高校生の頃での分析では $N = 114$ 、小学校高学年の頃での分析では $N = 113$ 、 χ^2 は Null deviance - Residual deviance で求められた値